

理財部会講演会・部会員交流会のご案内

日本の不動産市場は、金融情勢の変化と米中貿易戦争や景気後退という複合的な要因によって、数年間に及ぶ大活況が終わりつつあります。日韓問題の長期化や香港の騒動もあり、インバウンド需要の今後にも気になるところですが、超低金利は依然として続いているため、住宅・不動産の取得意欲は衰えておらず、市況は緩やかな減速となっています。

しかし、不動産取引に対する金融機関の融資姿勢は確実に厳しくなっており、その影響で不動産全体の取引量は少なくなって、価格は調整局面に入ってくる一方で、人生100年時代、格差社会の出現、空き家問題など、事業環境の変化もあって、不動産の新しいニーズも生まれてきていることから、今後に向けては過去の延長線上で捉えることは危険だといえます。

これらの背景を踏まえ、今回は最新の市場データを基に解説いただくとともに、今後の市況動向の予測と対応策についてご講話いただきます。また講演会終了後に、理財部会の皆様を対象に交流会を開催いたします。参加費はいずれも無料です。懇親・名刺交換にて人脈形成にお役立てください。

開催要領

第一部・第二部 いずれも参加費無料!

◇開催日時：令和元年11月13日(水) 15:00~18:00

第一部 講演会(15:00~16:30) 定員：200名(定員になり次第締切)

演題：「2020年不動産市場の展望と課題

～ 転換期を迎えた市場。五輪後に向けての対応策～」

講師：ネットワーク88 代表 幸田昌則氏

第二部 部会員交流会(16:45~18:00) 定員：80名(定員になり次第締切)

※福岡商工会議所 理財部会 会員対象。立食形式でお食事をご用意しております。

◇会場：グランドハイアット福岡 3F ボールルーム (福岡市博多区住吉1-2-82)



【講師略歴】

福岡県出身。九州大学法学部卒。リクルート発行の「住宅情報」誌の創刊責任者を三大都市圏で歴任。不動産市況アナリストとして、90年バブル崩壊以前の1989年11月に発表した「関西圏から不動産価格が大幅に下落する」は不動産業界に波紋を呼び、予測の正確さが実証されて以来、長年にわたって不動産市況について発信を続けている。また、近年では、高齢化社会の進行、人口減少、更に、ネット社会の到来が、日本の不動産市場に構造的な変化を与えていると指摘している。的確な市況分析と助言で、全国に多くの支持者を擁するマーケット分析の第一人者であり、現在は、ネットワーク88を主宰。不動産業の経営、事業・営業戦略のアドバイス、幹部研修などでも活躍している。また、土地資産家や企業経営者を対象とした講演では、データを基に、具体例を交えた分かり易い解説に定評がある。

【最近の著書】

「東日本大震災後の不動産の鉄則」 (日本経済新聞出版社)

リクルート・江副浩正から学んだ「成長の経営哲学」(週刊住宅新聞)

お申し込み・お問い合わせ先：福岡商工会議所 経理・財務グループ TEL 092-441-1115

【「理財部会講演会」参加申込書 兼 参加票】 FAX 092-474-3200

◎ 誠に恐れ入りますが、当日は「お名刺」か「本参加票」を受付にご持参下さい。

貴社名 _____

電話 _____

所在地 _____

	参加者名	役職	講演会	部会員交流会
①			出席・欠席	出席・欠席
②			出席・欠席	出席・欠席
③			出席・欠席	出席・欠席